# This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

# BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

# THIS PAGE BLANK (DEFIL)

3/9/2DIALOG(R) File 352: DERWENT WPI (c) 2000 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

004647839

WPI Acc No: 86-151182/198624 XRAM Acc No: C86-064619

Nitrogen oxide emission reduction - in coke oven flue gases by specified

settings for circulation rate and combustion stage ratio

Patent Assignee: KRUPP-KOPPERS GMBH (KOPS )

Inventor: DÜERSELEN H; JAKOBI W; JANICKA J; MEYER G; DURSELEN H

Number of Countries: 011 Number of Patents: 008 Patent Family: Patent No Kind Date Applicat No Kind Date 19860611 EP 85108019 A 19860612 DE 3443976 A 19850628 EP 183908 198624 B DE 3443976 A 19841201 198625 19860620 JP 85267628 A JP 61133286 A 19851129 198631 19871103 US 85796582 A 198746 US 4704195 A 19851108 EP 183908 19880803 198831 DE 3564130 G 19880908 DE 3443976 C2 19930422 DE 3443976 198837 A 19841201 C10B-021/18 199316 JP 95078220 B2 19950823 JP 85267628 A 19851129 C10B-021/18 199538 Priority Applications (No Type Date): DE 3443976 A 19841201 Cited Patents: DE 1147559; DE 1571657; GB 1007607 Patent Details: Kind Lan Pg Filing Notes Patent Application Patent EP 183908 A G 13 Designated States (Regional): BE DE FR GB IT LI NL SE

Designated States (Regional): BE DE FR GB IT LU NL SE

7 Based on

Abstract (Basic): EP 183908 B

DE 3443976 C2 JP 95078220 B2

In a coke oven of the circulation type with two combustion stages in the heating flues the recirculation rate is set to 20-50% (35-45%) The stage ratio, i.e. in the case of rich gas firing the volumetric air flow rate of the bottom stage divided by the total air flow rate, is adjusted to 40-70% (50-65%). The higher combustion stage is arranged at between 35% and 55% (40-50%) of the heating flue height.

JP 61133286

ADVANTAGE - Research has proved that this results in the max. redn. of the NOx percentage in the flue gas emission from the coke ovens.

(13pp Dwg. No. 0/4)

Abstract (Equivalent): DE 3443976 C

Redn. of the NOx content of flue gas from the firing of coke ovens comprises (a) heating flues operating together in paris; (b) high and low combustion stages, and (c) a flue-gas return at the level of the heating-flue base (circular flow).

Circular flow rate, i.e., the volumetric flow of the returned flue-gas is 20-50% of the total flue-gas flow, a stage ratio of 40-70%, and a 2nd combustion-stage being 35-55% of the heating-flue level are combined in the method.

Variants claimed provide for differences in these percentages and for a coke oven to suit the method.

USE/ADVANTAGE - A max. redn. in NOx content, confirmed by tests, is achieved by this optimum combination of stepped heating, circular flow, and the arrangement of the second combustion stage. (Dwg. 0/4) Abstract (Equivalent): EP 183908 B

Process for reducing the NOx content in the flue gas when heating coke ovens with heating flues interacting in pair, high-level and low-level combustion stages and a flue gas recycle at the level of the heating flue base (circulating flow), characterized by the combination of the following measures: (a) the circulating flow rate, that is to say, the volumetric flow of the recycled flue gas divided by the volumetric flue gas flow without recycled flue gas, is set at between 20% and 50%; (b) the stage ratio, that is to say, in rich gas operation, the volumetric air flow of the lower stage is divided by the total volumetric air flow and, in lean gas operation, the sum of the volumetric flow of air and lean gas at the lower stage divided by the sum of the total volumetric flows of air and lean gas, is set at between 40% and 70%; and (c) the second combustion stage is located at between 35% and 55% of the height of the heating flue. (8pp)a

Charles and Edwards and the la

Abstract (Equivalent): US 4704195 A

The nitrogen oxide content of flue gas produced in the flue of a coling oven having vertical heating flues is controlled by adjusting the volume ratio of the recirculated flue gas branch to the current without recirculation to 20-50% and then adjusting the vol. of primary combustion air to secondary combustion air to 40-70%. The high level combustion stage being located at 35-55% of the height of the heating flues.

ADVANTAGE - The method of operation substantially reduces the level

of nitrogen oxide emission from the plant. (7pp)r
Title Terms: NITROGEN; OXIDE; EMIT; REDUCE; COKE; OVEN; FLUE; GAS;
SPECIFIED; SET; CIRCULATE; RATE; COMBUST; STAGE; RATIO
Derwent Class: HO9; M24

International Patent Class (Main): C10B-021/18
International Patent Class (Additional): B01D-053/34; C10B-005/04; C10B-021/20; C10B-021/22

-\* 

命日本国特許庁(JP)

① 特許出頭公開

#### ⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭61-133286

@Int Cl.4

織別記号

庁内整理番号

@公開 昭和61年(1986)6月20日

C 10 B 21/20

7327-4H

審査請求 未請求 発明の数 2 (全6頁)

コークス炉を加熱する際の後道ガス中のNO。含量を減少させる方

法及び該方法を実施するためのコークス炉

卯特 顧 昭60-267628

超 昭60(1985)11月29日 ØH.

優先権主張

図1984年12月1日 図西ドイツ(DE) 図P3443976.5

73条 明 者

ョハネス・ヤニカ

ドイツ連共和国オーベルハウゼン12・メルゲルシユトラー

の出 頭 人

クルップ・コツバー ス・ゲゼルシヤフト・ ドイツ連共和国エツセン1・アルテンドルフアー・シュト

ラーセ 120

ミット・ベシユレンク

テル・ハフツング・

升理士 矢野 敏雄 外1名

最終質に続く

②代 理 人

1 発明の名称

コークス炉を加熱する際の炎道ガス中の NO。 含量を減少させる方法及び該方法を実施する ためのコークス炉

- 特許請求の範囲
  - 1. 1.対ずつ共同で働らく疾道、高位及び低位 の燃焼段並びに返道座部の高さに返道ガス返 流路を備えるコークス炉を加熱する駅の長道 ガス中のNOv含量を減少させる方法において、 次の方法:
    - a) 返流炎道ガスの容積流を返流炎道ガス なしの炎道ガス容積流で割つた、循環率を2 0 多~50 多の間に調節する:
    - b) 富ガス作業においては下級の空気容積 流を全空気容積流でわつたものであり、貧力 ス作業においては下段の空気容積流と貧オス 容積歳の合計したものと全空気容積流及び貧 ガス容積版の合計で割つたものである、飲比 を40メ~70メの間に調節する;

c)第2の燃焼段を炎道高さの35~55 ●の間に配置する:

を組み合わせることを特徴とする、コークス 炉を加熱する際の炎道ガス中の NOx、含量を 強少させる方法。

- 2. 循環窓を355~455とし、段比を50 ち~858とし、第2の機構設を炎雄高さの 40~50分の間に配置する特許請求の範囲 第1項記載の方法。
- 3、 1対すつ共同で働らく炎道、高位及び低位 の燃焼段並びに炎道底部の高さに炎道ガス遅 施路を備えるコークス炉を加熱する際の長道 ガス中の NO<sub>X</sub>× 含量を減少させる方法を実施 するためのコークスダ化をいて、第2の高位 患糖段への第2次空気供給部(9)及び第2 次費ガス供給部(11)が炎温対(1)をそ れぞれ限定するつなど豊(18)中にもつば ら配置されていることを特徴とするコークス
- 発明の詳細な説明

#### 産業上の利用分野

本発明は1対すつ共同で働らく長遠、高位及び低位の燃焼段並びに長遠底部の高さに長道ガス退硫路(循環流)を備えるコークス炉を加熱する際の長道ガス中の NO<sub>X</sub>、含量を減少させる方法に関する。更に、本発明は数方法を実施するためのコークス炉に関する。

### 従来技銳

コークス伊中で生じる窒素硬化物は第1にいわゆる熱 NO<sub>X</sub> に該当し、その生成速度は火炎中の酸素濃度及び窒素濃度の積と低減直線的な関係であり、かつ火炎温度に指数関数的な関係であるということは公知である。

NOx 生成を減少するための公知処置は長道 ガス退流による火炎温度の低下又は部分燃焼に よる酸素機度及び窒素機度の減少を目的として いる。

された。段階加熱、循環加熱及び第2の燃焼段の配置の最適な組み合わせにおいてのみ、最大NOx 一減少が進せられる。

### 問題点を解決するための手段

これらの研究の結果から、本発明により次の 方法の組み合わせが提案された:

- a)返流炎道ガスの容積流を返流炎道ガスな しの炎道ガス容積流で割つた、循環率を20 f ~50 fの間に調節する;
- b) 富ガス作業においては下段の空気容積流 を全空気容積流でわつたものであり、食ガス作 業においては下段の空気容積流と食ガス容積流 の合計したものを全空気容積流及び食ガス容積 流の合計で割つたものである。段比を40%~ 70%の間に関節する;
- c ) 第2の燃焼段を炎道高さの35~55% の間に配置する。

最少 NO<sub>X</sub> 発生に関して有利を組み合わせは 循環率を35%~45%とし、 皮比を50%~ 65%とし、第2の燃焼段を炎進高さの40~ 1 つ又は2 つを介して、炎道ガスを空気流及び燃料ガス流に混合し、 これにより第1 に最高火炎温度が低下し、更に O<sub>2</sub> - 及び N<sub>2</sub> - 健度が減少し、 NO<sub>2</sub> - 生成速度が明らかに減少した。

部分燃焼による NO<sub>X</sub> - 減少原理はコークスが において、段階的加熱という形で適用される。

## 発明が解決しようとする問題点

コークス炉中のNO<sub>X</sub>発生を更に下げるために 悪論的及び実験的研究を実施した。この研究の 実施にあたつては、NO<sub>X</sub>・減少原理の組み合わ せ、すなわち長遠ガス返流(循環加熱)及び2 段階での部分 燃焼( 段階 加熱) との組み合 わせが継続する NO<sub>X</sub>・生成の減少に導びくこと ができるということを本質的な 認識として考慮 した。

基本的には、コークス炉における段階加無及び循環加無の組み合わせは公知である。しかしながら、前記の研究によれば循環加熱と段階加熱との任意の組み合わせは明白な NO<sub>X</sub> - 減少に必然的に導びくわけではないということが示

50%の間に配置することである。

本発明方法の実施のためには、第2の高位燃 施設への第2次奨気供給部及び第2次費ガス供 給部は、炎道対をそれぞれ限定するつなぎ壁中 にもつばら配置されている。

流動媒体は機勢炎道2に次のように供給される:

第1次型気は、空気蓄無室から第1次空気略 3及び制御可能な出口4を介して、. 第1次費ガスはガス蓄熱包から第1次費ガス 路5及び制御可能を出口6を介して、

宮ガスは富ガス路7及び交換可能な宮ガスノ メル8を介して、

第2次空気は第2次空気供給部9及び制御可能な出口10を介して、

第2次質ガスは第2次質ガス供給部11及び 制御可能を出口12を介して、

返流ガスは制御可能な循環流開口部を介して。 第2次供給部までのパーナー面の高さ(化学 量論量以下の燃焼の高さ)14を越えて部分燃 焼が生じる。

英道ガスの道は炎道(燃焼中)2から折返し路15を介して(1部は差動路16を介して) 炎道(非燃焼)2a中に案内され、制御可能な出口(ノズル)4a、6a、10a、12a及び第1次空気路(廃ガス用)3a、気1次の質がストリカコ。、第2次空気性給部(房ガス用)9a、第2次変ガス円)5a、第2次変ガス円)5a、第1次空気がある。

する炎道対の(第2図中A-Aに沿つた)提断 面図であり、第2図は第1図による2つの炎道 対のB-Bに沿つた横断面図であり、第3図は 富ガス炉の2つの換接する炎道対の(第4図中 C-Cに沿つた)機断面図であり、第4図は第 3図による2つの炎道対のD-Dに沿つた横断 面図である。

1 … 疾道対、2,2 a … 疾道、3,3 a … 第 1 次空気路、4,4 a,6,6 a … 制御部、5,5 a … 第1 次質ガス路、7 … 富ガス路、8 … 富 ガスノメル、9,9 a … 第2 次空気供給部、1 0,10a(12,12a)… 制御可能出口、 11,11a…第2次質ガス供給部、13… 循 環液関口部、13a…循環洗開口部用制御ロー ル、14…高さ、15…折返し路、16…益動 路、17…加熱壁、18,19…つなぎ壁

代 型 人 弁理士 矢 野 放 類



い)に築内される。

第1図及び第2図中には媒体の流動方向が食 ガスに関しても富ガスに関しても矢印により示 されている。食ガス作動においては全く富ガス は流れず、富ガス作動においては食ガス路を燃 毎用空気が導びかれる。

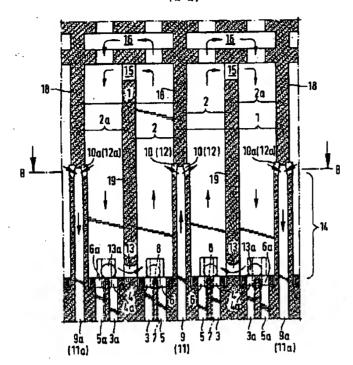
長道対1の側面限定は加熱腺17、及び第2 大型気供給部(第2次度ガス供給部)9(11 )が貫通するつなぎ壁18により限定されている。長道対1の長道2及び2aへの分割はつな を壁19により行なわれ、誠つなぎ蟹を折返し 路15及び循環開口部13が貫通している。

循環路を有するつなぎ壁と空気供給部を有するつなぎ壁との空間的分離を開放した實ポス出口と組み合わせることにより、有利な流動条件が保証され、このことは下段の燃焼媒体中への循環流の十分な混合を可能とする。

### 4 図面の簡単な説明

能付図面は本発明によるコークス炉の実施形を示す図であり、第1図は複合炉の2つの燐液

# 



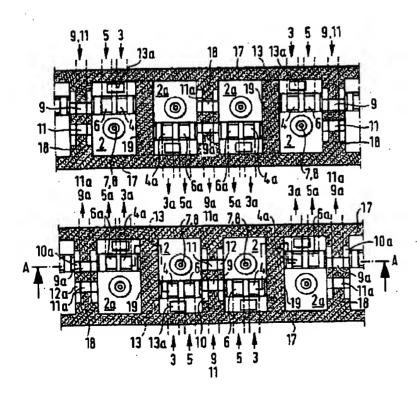
1... 及道対

... 第2次空気供給部

11... 第2次贷ガス供給係

8... ७ ४ इ.स

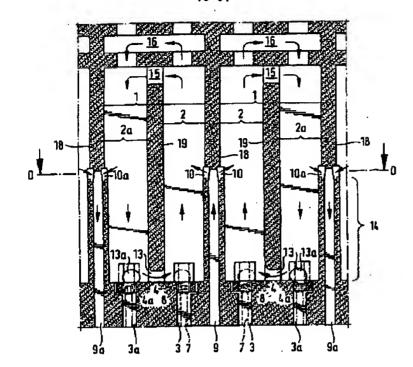
# (8-8)



9... 第2次空気供給部 1... 第2次食ガス供給邸

10 nt #10

(C-C)



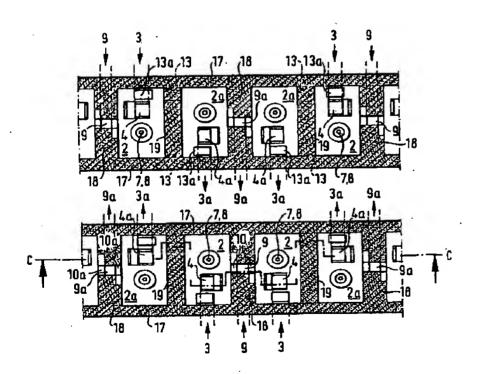
1... 炎並対

9... 第2次空氣供給部

11... 第2次介ガス供給部

18... つなぎ気

(0-0)



9... 第2次空気供給郵

しし... 第2次貸ガス供給部

18... つなぎ駄

第1頁の続き

**砲発 明 者 ヴィルヘルム・ヤコビ ドイツ連共和国エツセン1・リヒヤルト・ヴアーグナー・** 

シユトラーセ 98

**79発 明 者 ハインツ・デュルゼレ ドイツ連共和国エツセン14・ラウブロツクヴエーク 5** 

7

**22** 明 者 ギュンター・マイヤー ドイツ**連共和国**エツセン1・ヴォルトベルクローデ 18

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載 【部門区分】第3部門第3区分 【発行日】平成5年(1993)10月12日

【公開番号】特開昭61—133286 【公開日】昭和61年(1986)6月20日 【年通号数】公開特許公報61—1333 【出願番号】特願昭60—267628 【国際特許分類第5版】 C10B 21/20 8018-4H

# 手続補正費(1991)

平成 4 年11月27日

### 特許庁長官 政

1. 専件の表示

昭和 60 年特許 顯纬 267628 号

2. 発明の名称

コークス炉を加熱する際の炎道ガス中のNOx含量を減少させる方法及び彼方法を実施するためのコークス炉

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 クルツブ・コツパース・ゲゼルシャフト・ミツト・ ベシユレンクテル・ハフツング

4. 代 理 人 住 所 〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号 新東京ビルヂング553号 電話(3216)5031~5番 氏 名 (6181) 弁理士 矢 野 轍 雄

5. 補正により増加する発明の数 ()

6. 補正の対象

明細 の特許請求の範囲の欄及び発明の詳細な説明の欄

### 7. 補正の内容

- (1) 特許請求の範囲を別紙の選り構正する。
- (2) 明和書第7頁第9行の「循環漢関口部」を「循環関口部13」と補正する。
- (3) 同第7頁第11行の「雄えて」を「越えて 灸道において」と横正する。

### 2 特許請求の範囲

- 1. 1対ずつ共同で働く炎道、高位及び低位の 燃焼段並びに炎遺底部の高さに炎道ガス退流 路を備えるコークス炉を加熱する際の炎道ガ ス中のNOx含量を減少させる方法において 、次の方法:
  - a) 返流炎道ガスの容積流を返流炎道ガスなしの炎道ガス容積流で割った、循環率を20%~50%の間に翻節する:
  - b) 富ガス作衆においては下段の空気容 被流を全空気容積流でわったものであり、食 ガス作業においては下段の空気容積流と食ガ ス容積流の合計したものを全空気容積流及び 食ガス容積流の合計で割ったものである、段 比を40%~70%の間に調節する:
  - c) 第2の 燃焼及を炎道高さの 3 5 ~ 5 5 % の間に配置する; を組み合わせることを特徴とする、 コークス 炉を加熱する際の炎道ガス中の N O x 含量を

を組み合わせることよりなる、コークス炉を加熱する際の炎道ガス中のNOx含量を減少させる方法を実施するためのコークス炉において、第2の高位燃焼及への第2次空気供給部(9)及び第2次食ガス供給部(11)が炎道対(1)をそれぞれ限定するつなぎ壁でした。

減少させる方法。

- 額環率を35%~45%とし、段比を50%~65%とし、第2の燃焼設を炎遊高さの40~50%の間に配置する特許請求の範囲第1項記載の方法。
- 3. 1対すつ共同で動く炎波、高位及び低位の 燃納股並びに炎道底部の高さに炎道ガス返流 . 路を備えるコークス炉を加熱する際の炎道ガス中のNOx含量を減少させる方法であり、 次の方法:
  - a) 返流炎道ガスの容積流を返流炎道ガスなしの炎道ガス容積流で割った、循環率を20%~50%の間に関節する:
  - b) 富ガス作業においては下股の空気容 強流を全空気容養流でわったものであり、食 ガス作業においては下股の空気容積液と食ガ ス容積流の合計したものを全空気容積液及び 食ガス容積流の合計で割ったものである、及 比を40%~70%の間に顕節する:
  - c) 第2の機焼段を炎道高さの35~5 5%の間に配置する;